

ルール[?]展

Exhibition “Rules?”

オンラインドキュメント Ver.10

日本語 / [English](#)

最終更新日

[2021年12月24日](#)

開催概要

会場:[21_21 DESIGN SIGHT ギャラリー 1&2](#)

会期:2021年7月2日(金)- 11月28日(日)

休館日: 火曜日(11月23日は開館)

開館時間: 平日 11:00 - 17:00、土日祝 11:00 - 18:00(入場は閉館の30分前まで)

入館料: 一般1,200円、大学生800円、高校生500円、中学生以下無料

各種割引については[ご利用案内](#)をご覧ください

21_21 DESIGN SIGHT 企画展

ルール? 展

Exhibition "Rules?" 2021.7.2(金)-11.28(日)
July 2 (Fri)-November 28 (Sun), 2021



展覧会ディレクターチーム：水野祐、菅俊一、田中みゆき

休館日：土曜日（11月23日は開館） 会場：21_21 DESIGN SIGHT キヤブツ 1&2
主催：21_21 DESIGN SIGHT、公益財団法人 三宅一夫デザイン文化財団

Exhibition Director Team: Yasuko Mizuno, Shunichi Suganuma, Miyuki Tanaka
Closed on Tuesdays (Except November 23) Venue: 21_21 DESIGN SIGHT Gallery 1&2

21_21

この展覧会は、ルールについてのデザインの展覧会です。

ルールとデザインにどういう関係があるのか、疑問に思う人もいるかもしれません。

日常にあるモノやサービスは、さまざまなルールの影響を受けています。

また、ルールは私たちの行動やふるまいを規定しています。

ここでは、デザインによってルールに対する見方を変えたり、
逆にルールをデザインすることによって物事や社会に働きかけたりすることを考える場を、
来場者の皆さんとともにつくりたいと考えています。

ルールは、あなたを縛るものではなく、
あなたがこの社会で自由に生きるために存在します。

この展覧会の会場には、みんながともにより良い体験をつくるために、
あなた自身の判断と責任で展覧会に関わることができる余白を残しています。

参加しないことも自由ですが、参加することで、
この展覧会をより実感をもって楽しむことができるかもしれません。

余白は、あなた自身で判断して、
危ないところは自分で見極めて楽しんでください。
必要な場合は、他の人と譲り合ったり、話し合ったりしてみましょう。

体験を制限するような禁止事項はできる限りつくっていませんが、
個々の体験が守られない場合は、会期中に注意書きやお願いが加えられていきます。
もしかすると、そのままの形で楽しめなくなる作品や展示もあるかもしれません。
そうならないために、来場者とスタッフと一緒に作っていく展覧会だともいえます。

この展覧会では、専門的な用語に敢えて注釈や解説を入れていない場合があります。
わからない言葉があっても、想像してみたり、調べてみることで、
自分なりの鑑賞体験がつけられていく。
私たちはそのような態度で、本展覧会を企画・構成しています。

また、この展覧会は、より深く楽しみたい人のために、今ご覧になっているこのオンラインの情報を
見ながら楽しむことができ、情報は会期中も更新されていきます。

一人ひとりが自分で考えることで、それぞれが尊重され、
自由に生きられる社会は、どのようにつくれるのでしょうか。
そのためにルールができることを、一緒に考えましょう。



ルール?

Exhibition "Rule?"



2022.7.23 - 12.28 (日)

21_21

#これもルールかもしれない



ルール？

人間は社会生活の中で、それぞれのコミュニティに特有の文化や、言語／非言語によるコードを共有しています。この作品は、身体的・文化的特徴により、多数派とは異なる手がかりやコードを駆使して生きる人たちの様子を描いています。また、多数派の中でも明文化されていない、人との距離や振る舞いなどのコードを扱います。ルールとまで言えるかどうか分からないそれらの日常のひとコマには、社会を生き抜くための人間の知恵や創造性を垣間見ることができます。

田中みゆき 菅 俊一 野村律子

企画: 田中みゆき 菅 俊一

監督・編集・CG: 野村律子

出演: 秋吉昭良 奥村泰人 白井崇陽 那須映里 ライラ・カセム

ナレーション: マクマスター・グレッグ 岡本 昇

撮影: バルトロ・アレクサンドル

制作進行: 王 靖

手話通訳: 角田麻里 小松智美

手話監修: 小林信恵

協力: 異言語Lab.

上映時間: 約14分

令和2年度戦略的芸術文化創造推進事業「文化庁芸術収益力強化事業」

バリアフリー型の動画配信プラットフォーム事業

株式会社precog/THEATRE for ALL

ルール？

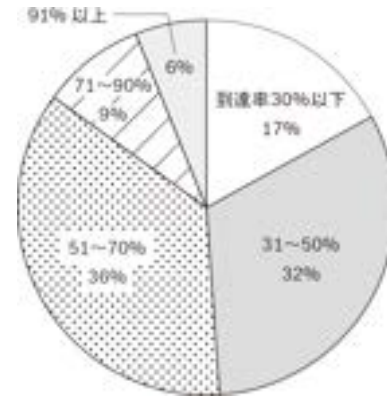
法的視点からの考察

障害者差別解消法や改正障害者雇用促進法により、障害のある人への「合理的配慮」が求められている。合理的配慮とは、「障害者が他の者と平等にすべての人権及び基本的自由を享有し、又は行使することを確保するための必要かつ適当な変更及び調整であって、特定の場合において必要とされるものであり、かつ、均衡を失した又は過度の負担を課さないものをいう」と定義されている(障害者権利条約)。ただし、事業者が民間か国や自治体かで法的拘束力は異なる。

データで見る社会

全国の主要都市の約半数において、駅から障害なく到達できる生活関連施設は約5割以下に留まっている。

駅からユニバーサルデザイン化された道路で連絡している生活関連施設の割合



出典)国土交通省「[市町村別ユニバーサルデザイン化の整備状況](#)」(2018)をもとに作成
注)県庁所在地のある47都市で比較

21_21 DESIGN SIGHT

ESTABLISHED BY MIYAKE ISSEI, 2007

- GALLERY 1
- GALLERY 2
- SHOP
- ← GALLERY 3

展覧会クレジット

主催: 21_21 DESIGN SIGHT、公益財団法人 三宅一生デザイン文化財団

後援: 文化庁、経済産業省、港区教育委員会

特別協賛: 三井不動産株式会社

展覧会ディレクターチーム: 水野 祐、菅 俊一、田中みゆき

グラフィックデザイン: UMA/design farm

会場構成: dot architects

オンライン体験設計: 奥田透也

参加作家: 石川将也 + nomena + 中路景暁、ダニエル・ヴェッツェル(リミニ・プロトコル) + 田中みゆき + 小林恵吾 (NoRA) × 植村 遥 + 萩原俊矢 × N sketch Inc.、遠藤麻衣、葛宇路(グウ・ユルー)、高野ユリカ + 山川陸、一般社団法人コード・フォー・ジャパン、コンタクト・ゴンゾ、佐々木 隼(オインクゲームズ)、NPO法人スウィング、田中功起、丹羽良徳、野村律子、早稲田大学吉村靖孝研究室、Whatever Inc.

21_21 DESIGN SIGHT担当: 石井潤美(企画)、吉田あさぎ(施工)、田代未来子(広報)

21_21 DESIGN SIGHTディレクター: 三宅一生、佐藤 卓、深澤直人

アソシエイトディレクター: 川上典李子

プログラム・ディレクター: 前村達也